

膿 栓

昔からのどがとても弱くて、すぐに痛みが出たり、よく炎症が起ります。扁桃から白っぽい分泌液が慢性的に排泄され、そのにおいが臭くて、口臭も気になります。耳鼻咽喉科で診てもらったところ、「膿栓」と言われました。毎日、外用消毒剤でうがいを繰り返していますが、いっこうに改善されません。すっきりと治すいい方法はないものでしょうか。

(会社員 46歳)

体の悩み聞いて効く



笠井創院長

す。しかし、一般的には扁桃手術の適応は、年に何回も高熱やのどの痛みが繰り返す場合、微熱が続いたり、腎炎など他の臓器に悪影響を及ぼす場合、いびきや睡眠時無呼吸症の原因となるような扁桃肥大などとされています。膿栓がたまるということだけで、手術まで行うかどうかは判断が分かります。

膿栓の保存的治療法として、耳鼻咽喉科外来では専用の器具で膿栓の吸引除去や陰窩の洗浄といった処置が行われます。のどの反射が強い人や治療の苦手な人には向きませんから、そのような場合にはうがいを頻回に行うといった口腔内の衛生に努められるのがよいでしょう。

(笠井耳鼻咽喉科クリニック・自由が丘診療室院長 笠井創)



相談は〒556-8666

産経新聞社文化部「聞いて

効く」係 (FAX 06・6663

3・1940)へ。

扁桃は口の奥の両側にある、アーモンドのような形をした親指大のリンパ腺のことで、のどの粘膜の中に埋まっています。表面には陰窩ありは腺窩と呼ばれる多数の小さい穴があり、扁桃全体として表面積が大きくなって、効率的に細菌やウイルスなどを殺せるような構造になっています。陰窩の奥には細菌の死骸である細菌塊や食べ物のカスがたまってきます。これが膿栓と呼ばれ、独特の嫌なにおいがします。

一見して何もないような扁桃

桃であっても、軽く圧迫すると陰窩にたまっていた膿栓や膿汁が流出してくることは珍しいことではありません。特に症状がなければ、放置しても構いません。膿栓が原因で口臭が気になり、のどの違和感が続いたりするような方は治療の対象となります。

扁桃摘出手術で扁桃をなく

せば、膿栓は出なくなりま

症状で判断分かれる治療方針